

ファームエイジ株式会社の開発供給実施計画の概要

GNSS（衛星測位システム）対応首輪とバーチャルフェンス技術を活用した放牧管理省力化システム

2026年5月認定

<取組概要>

乳用牛・肉用牛の放牧飼養において、物理牧柵の設置・補修・撤去作業や見回り作業の省力化に資する、GNSS対応首輪を活用した仮想牧柵（バーチャルフェンス）による放牧区域の設定・管理を可能にする放牧管理システムの開発及び供給

<申請者名（代表者）>

ファームエイジ株式会社

<計画の実施期間>

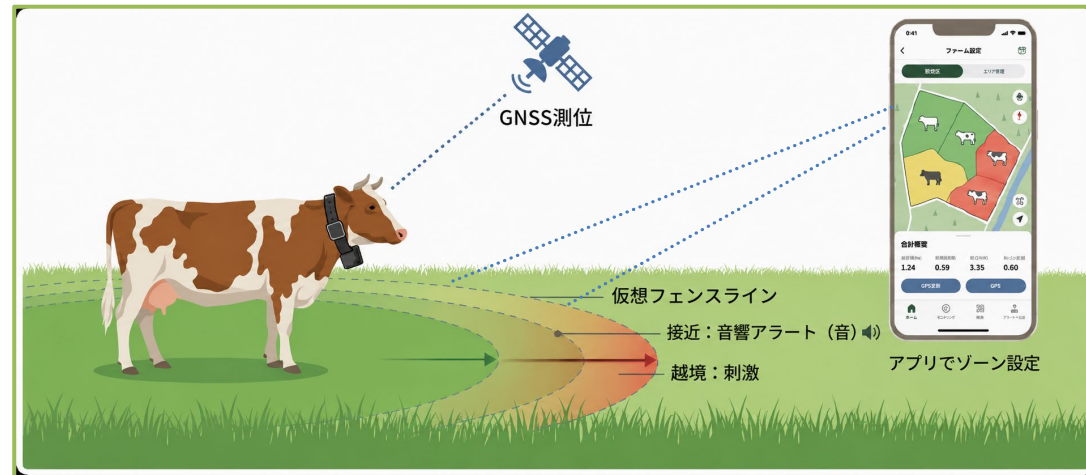
4年間

<本技術による生産性向上の効果>

・「畜産・酪農」の「飼養管理」のうち「GNSSを活用した放牧牛の位置情報把握等の管理の省力化に係る技術」により労働時間60%削減に資する技術

放牧牛及び放牧地の管理作業を省力化するシステムの導入による労働時間の削減

<開発技術のイメージ>



GNSS対応首輪及び管理アプリケーションを通じて、山間地等の幅広いエリアで、放牧牛の位置把握及び放牧区域の設定が可能